

## 第 88 回紫友まち歩き

### お花見と荒川岩渕水門

下見も実施して、本番開催を待つ身には、天気予報が大変気になります。小雨のような予報が、前日夜には夕方まで持ちそうだということになり、案内人はほっとする。当日朝は早めに赤羽駅に集合して、呑み助の皆さんのお花見に必須のワインを6本と日本酒2本を購入。おつまみも用意。少し買い物で出発は遅れたが、すべて準備完了、天気も曇りで傘をさすこともなくまち歩きはスタートしました。

**日時： 2019年3月30日(土)**

集合時間：13時

集合場所：JR赤羽駅北口改札前

参加者：18名参加

案内人：横山 018 小林俊夫 016

懇親会：赤羽駅そば くずし割烹 きらく

懇親会参加者：16名

歩いた歩数：15,000歩

<まち歩き>:

#### ■まち歩き行程

JR赤羽駅北口→ヌーヴェル赤羽台（赤羽台団地）  
→近辺の桜の名所（旧保健所通りの桜並木）→諏訪神社→星美学園→赤羽八幡神社→新荒川大橋  
（桜の土手で花見の宴）→荒川知水館→岩渕水門  
（赤水門・青水門）→町家改造地区→懇親会・くずし割烹 きらく→JR赤羽駅解散

<スタート>

写真を見ながら楽しんでください。

#### ① JR赤羽駅北口：

時間通りに集合。買い物チームが戻るのを待つ。赤羽駅北口改札の西口からスタート。



#### ② ヌーヴェル赤羽台（赤羽台団地）

赤羽台団地に向かい、エレベータで行く人、元気ある人は階段を上って赤羽台の台地を感じる。古い団地アパートが改築されているのか、真新しいマンション街のようだ。



#### ③ 近辺の桜の名所（旧保健所通りの桜並木）：

現在は赤羽並木通りと呼ばれているようで、公園ではお花見の人々が楽しんでいる。



#### ④ 諏訪神社：

右手に折れて師団坂通りに入るとすぐ左手に諏訪神社の碑と参道跡越しに諏訪神社が見える。昔

は谷を降りてまた昇るという起伏があったようだ。



#### ⑤ 星美学園：

師団坂通りを少し進むと公園があり、その下を新幹線が通っている。調べると東北新幹線、山形新幹線、秋田新幹線がトンネルに出入りするのが見える。隣は埼京線が走る。



さらに進むと星美学園の門が見える。赤羽線で見ることができるのはあれだとかいう人あり。



バスの駐車場の名前も「師団坂通り」でした。



<解説>師団坂は、旧陸軍の近衛師団と第一師団に所属した二つの工兵大隊に向かう坂道でした。明治20年(1887)8月から9月にかけてこれらの大隊が現在の丸ノ内2丁目から赤羽台4丁目内に移ってきたので、坂はつくられました。



#### ⑥ 赤羽八幡神社：

師団坂を下ると、すぐにまた急な坂を上っていくと神社があった。





日本で唯一新幹線の上に鎮座する神社とか、「下元8運お守り」を頒布したところ関ジャニ∞ファンの間で広がり「エイト神社」と呼ばれているとか、勝負事の神だとかを話題にしながら、しばらく休憩する。帰りは階段を下る。



### ⑥ 新荒川大橋（桜の土手で花見の宴）：

途中、道標がある。岩槻街道が岩付の字で書かれていた。



新荒川大橋で一人途中から参加する。新荒川橋の途中で、左に曲がる。ここから荒川と対岸の川口の町のビル群が見える。埼玉の方がビル街だとの声も出る。



堤沿いのピンクの芝桜が満開だ。この芝桜が JR から見えるという。



新河岸川沿いの桜堤の階段に祝宴のビニールシートを敷き始める。有志が家から持参してくれたものだ。ワインのコップで乾杯をする。記念写真も撮る。



イノシン肉の揚げ物とかサンドイッチとかスペイン土産のチョコレートとか、いろいろと出てきました。桜並木を背にして、もっぱら酒盛りに専念する。お花見ワインは久しぶり。



案内人は、6時懇親会開始は遅いよとの提案を受け、30分前倒しを頼む。



お酒がなくなったので、次の目的地まで進むことにやっとなる。きちんとゴミ一つ残さないように、後片付けをしました。

#### ⑦ 荒川知水館：

時間の関係からまず荒川知水館に行く。桜の花がきれいなので、集合写真を撮る。



やはり桜の花がきれいなのか、中国の新婚が写真を撮っている。

荒川知水館は、閉館間際であったので、説明の人が帰り支度でやってきた。説明を頼むと少しだけと言って荒川の概要を説明してくれた。昔荒川放水路と呼んでいたのが、今は荒川になったようだ。二階のビデオの前で説明の女性はお別れ。

青山 士（あおやま あきら）はパナマ運河開削工事に7年半にわたり従事。

帰国後内務省技官となり、荒川放水路開削工事や旧岩淵水門工事では活躍したとの説明もあった。あきらつながりを喜ぶ人もいました。

#### ⑧ 岩淵水門（赤水門・青水門）：

残り時間は赤水門（旧岩淵水門）の見学。



途中中国人の新婚がカメラマンを引き連れ写真撮影をしている。仲間の一人が何か中国語で女性

に話しかけると女性は大喜びをしていた。後でなんて話しかけたのと聞くと、「桜の花のようにきれいだね」と言ったという。仲間にはこのような人もいます。



水門公園には「草刈の碑」と呼ばれる大きな石碑がある。これは1938年（昭和13年）から1944年（昭和19年）にかけて付近の荒川土手で行われた「全日本草刈選手権大会」を記念して作られたもので、「草刈は日本農民の昔ながらの美風で……」という碑文が記されている。



ここから青水門や荒川を眺める雄大な景色に感動している人が多かったです。のんびりとして日本ではないような風景でした。



雨も降らず、少し夕焼けのような天気でした。

#### ⑨ 町家改造地区：

赤羽駅近くの懇親会に向かう途中にある町家改造地区を見学。ちょうど本日3.30に1周年を迎える宿場町まるしえを開催していた。



一棟で4軒の玄関がある2階建ての建物がいくつかある路地裏の長屋街だったのかと想像する。



なお、岩淵町は、江戸時代には宿場町でした。それも、将軍が日光東照宮にお参りをする際に通る日光御成道で、いの一に泊まっていた第一の宿場町。

#### ⑩ 懇親会：

無事懇親会場に到着。ほぼ6時に近くなってしまっていた。4人ずつのテーブル席で、いつものように話が弾んでいる。



一部のテーブルでは鶏のから揚げが半生だとクレームをつけ、きちんとカラカラに挙げてもらった。日本酒の良く飲む銘柄は、なくなってしまったようだ。2時間ほどで解散。

何と外は雨が降っている。傘をさして赤羽駅に向かう。相合傘でラッキーの人もありました。



皆さん無事に帰りましょう。

以上

平成31年4月1日、新年号令和をテレビで聞きながらまち歩き報告書を作成しました。

